

「生きていく。いのちの輝きを支えて」

講師:

内藤いづみ氏

(在宅ホスピス医/山梨県甲府市在住)

昭和31年生まれ。昭和56年福島県立医大卒業。東京女子医大内科等に勤務。昭和61年から7年間、英国でホスピス研修。平成7年地元の甲府市にふじ内科クリニックを設立。院長。

在宅ホスピスケアの実践。がん患者さんが痛みなく自分の暮らしといのちに向きあえるようサポートを続けている。

NPO日本ホスピス・在宅ケア研究会理事。青少年協会理事長。

【著書】

「あした野原に出てみようー在宅ホスピス医のノートからー」(オフィスエム)・「笑顔で「さよなら」をー在宅ホスピス医の日記からー」(KKベストセラーズ)ほか



【メッセージ】

若き研修医の頃、積極的な治療から見放され、孤独のまま死を迎える末期がん患者さんのために何が出来るか考えさせられた。生と死への向かい合い方は、その人の住む社会の文化と歴史に深くかかわっている。現代の医療システムからいのちを自分の手に取り戻し、自立した人間としてその人らしく生きることを支えるのがホスピスケアであるとイギリスで学んだ。

全く新しい医療の一分野であり、異なる文化を持つ日本ではどう根付くのか実践を通してこの20年間見守ってきた。ようやく緩和ケアとして日本中で発展しつつある。

在宅ホスピスは、患者さんと家族が深く、心ひとつに「いのち」に向かい合う場、「ありがとう」と「さようなら」が一つになる瞬間がそこにある。産声をあげる時も、そして息を引き取る時も、いのちへの賛歌を胸に、互いのいのちを支えることができる社会を目指したい。「いのちは希望である」というメッセージを渡していきたい。

日時：2014年**2月9日**(日)10:30~12:00

会場：焼津市文化会館大ホール (焼津市三ヶ名1550)

参加費：500円 (当日お支払ください)

申込み：申込書に必要事項をご記入の上、FAX等にてお申込みください。

手話通訳
要約筆記
あります

主催 (特活)静岡県ボランティア協会・(公財)静岡県労働者福祉基金協会
共催 (社福)静岡県社会福祉協議会・(社福)焼津市社会福祉協議会
実施主体 第36回静岡県ボランティア研究集会実行委員会
後援 静岡県・静岡県教育委員会・焼津市・焼津市教育委員会
助成 静岡県議会ボランティア推進議員連盟

問い合わせ・申込み

(特活)静岡県ボランティア協会
420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 シズウエル2階
TEL.054-255-7357 FAX.054-254-5208

第36回静岡県ボランティア研究集会「公開企画」基調講演 申込書

| | | | | | |
|--------|--|------|--|------|---|
| ふりがな | | ② 性別 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 | ③ 年代 | 代 |
| ① お名前 | | | | | |
| ④ 所属 | * 日頃活動しているボランティアグループや職場をお書きください。(学生さんは学校名をご記入ください) | | | | |
| ⑤ 連絡先 | (〒 -) | | | | |
| | TEL () - | | FAX () - | | |
| 事務局記入欄 | | | | | |

※ご記入いただきました内容は、本事業の実施のみに使わせていただきます。 ※後日、参加のご案内をお送りします。